

特別講座

2 / 14 (土)	S-1	10:00 ～ 11:30	ふるさとの歌あれこれ ～心に残し、歌いつなぐ市町村歌・校歌など～	県生涯学習センター 所長 夏目由美子
秋田①	S-2	13:30 ～ 15:00	滝田構陰と芥川龍之介	秋田県立大学 教授 高橋秀晴氏
2 / 28 (土) 湯沢	S-3	13:00 ～ 14:30	湯沢・雄勝の文学者たち ～明治期から昭和期まで～	美の国アクティブカレッジ シニアコーディネーター 北条常久
3 / 14 (土)	S-4	11:00 ～ 12:30	花岡鉦山の変遷と語り種	元同和鉱業社員 児玉洋二氏 岩沢幹保氏 江楯新一氏
大館	S-5	13:30 ～ 15:00	歌いつなごう！ ふるさとの歌・うた・唄	県生涯学習センター 所長 夏目由美子
3 / 21 (土) 秋田②	S-6	13:00 ～ 14:30	震災から5年目を迎えた福島現状	福島大学人間発達文化学類 教授 初澤敏生氏

毎年、年間のスケジュールには予定されていない特別なプログラムで、年度末に開講しているのが「特別講座」です。今回は、音楽・文学・歴史・復興などをテーマに、当センターのほか湯沢市・大館市でも開講しました。それぞれの地域で、多くの方々に受講していただきました。

2月14日（土）の午前は、当カレッジの副学長である夏目由美子生涯学習センター所長が、「ふるさとの歌あれこれ」と題した講座を行い、歌詞に着目して県内の様々な市町村歌や校歌を取り上げました。市町村合併や学校の統廃合などにより、消えゆく歌もあれば新しく生まれる歌もある中で、時代を越えてもふるさとの歴史や伝統を歌いつなぐことの意義や必要性について考えることができました。また、声楽を専門とする所長自らが歌声を披露し、秋田出身の音楽家の楽曲を紹介しました。最後は、受講者全員で県民歌を斉唱しました。



S1講座 「ふるさとの歌あれこれ」



S 2 講座 「滝田樗陰と芥川龍之介」

午後は、秋田県立大学の高橋秀晴教授による「滝田^{ちよん}樗陰と芥川龍之介」と題した文学の講座でした。芥川が残した書簡などから、秋田市出身で『中央公論』の編集者となった滝田樗陰の人物像に迫る内容で、受講者の方々からは「滝田の存在・業績について初めて知ることができた」「秋田出身の滝田が有名な作家を育てたことに興味を抱いた」などの感想が寄せられました。これまで、県民にもあまり知られていなかった滝田と芥川の交流が丁寧に紐解かれた今回の講座は、多くの方々にとって驚きと発見につながったようです。

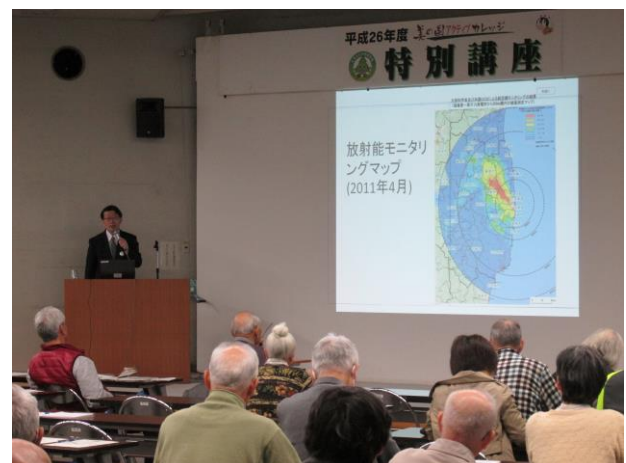
2月28日（土）には、湯沢雄勝広域交流センターで当カレッジの北条常久シニア・コーディネーターが「湯沢・雄勝の文学者たち」と題した講座を行いました。詩人として有名な山村^{ほちよう}暮鳥と地元の文人・帯屋久太郎との交流を中心に、湯沢・雄勝という地域がいかに文学者を育てた「文化の町」であるかということを再認識することができました。会場は、地元を中心に当初の申込数を上回る受講者の方々に満席となりました。本当にありがとうございました。



S 3 講座 「湯沢・雄勝の文学者たち」



S 4 講座 「花岡鮎山の変遷と語り種」



S 6 講座 「震災から5年目を迎えた福島現状」